野村 正峰作品シリーズコンサート

野村正峰（1927～2011）は箏曲界で名の知られる邦楽作曲家であるが、一般的に、箏曲作品といえば「六段の調べ」「千鳥の曲」「春の海」が曲名として知られている程度であり、作曲家として名の挙がるのは「春の海」作曲者の宮城道雄以来、現代の一般社会に通用する名は、ほとんどないのが現状である。

親しみやすい旋律が特色の野村正峰作品を広めて邦楽への関心を高め、箏曲の普及振興をはかるべく、野村正峰作品をカテゴリーに分類したシリーズコンサートを企画いたします。

昭和2年、名古屋生まれ。当道音楽会所属の母・野村豊子より厳格な薫陶を受け、陸軍士官学校（航空59期）に進み満州で終戦を迎える。戦後、公務のかたわら箏曲師匠の資格を受け、尺八を菊水湖風（多孔尺八宗家）に学び、昭和28年、妻・秀子とともに野村箏曲教室を開く。同33年、第一回演奏会開催以後、定期的に公演を継続、39年処女作「長城の賦」発表、40年、箏曲正絃社を創立、初代家元として起つ。

日本の伝統音楽を土台に古典文学などを素材とした抒情的な旋律の創作作品は、全国で流派を超えて共感を呼び、箏曲の振興とともに各地に会員が育つ。

愛知県芸術文化選奨文化賞（正絃社）、県教育表彰、名古屋市芸術特賞、滋賀県ブルーレイク賞など受賞。

野村 祐子（箏） Yuko Nomura

箏曲作曲・演奏家の両親のもとで自然に箏を覚え、3歳で初舞台。14歳より作曲を始める。箏リサイタル（文化庁芸術祭参加）などの演奏活動、作曲、オーケストラとの共演、NHK-FM放送、学校関係、各地講習会、滋賀県長栄座への指導など多岐にわたり活躍。正絃社「春の公演」、正絃社合奏団コンサートなどを開催。2002年、野村正峰より二代家元を継承。

名古屋市民芸術祭賞、名古屋市芸術奨励賞など受賞。愛知県立芸術大学・愛知大学・金城学院大学非常勤講師、NHK名古屋文化センター箏曲講座講師、愛知芸術文化協会副理事長、正絃社合奏団主宰・正絃社二代家元。

野村 倫子（箏） Tomoko Nomura

野村正峰三女。本拠地名古屋はじめ新大阪教室を関西拠点として、演奏、指導に駆け巡り、正絃社の全国普及に努める。若々しい感性のリズミカルな作曲やポップス編曲（大日本家庭音楽会発行）が人気を博し、CD「RINKO」シリーズを続々と発売。邦楽作曲家・水野利彦夫人。正絃社家元補佐。愛知県立芸術大学非常勤講師。ポップスコンクール（大日本家庭音楽会）審査員。

野村 幹人（尺八） Mikito Nomura

1984年生まれ。野村峰山・祐子の長男。中学生より尺八を学ぶ。高校在学中、箏曲部が全国高等学校総合文化祭の優秀校に選ばれ、国立劇場公演（東京）に出演。桐朋学園芸術短大芸術科、専攻科・研究科卒業。東京邦楽コンクール3位入賞、日本現代音楽協会賞受賞。邦楽界の若手奏者として活躍中。

正絃社合奏団

若手演奏家の育成と正絃社オリジナル作品の演奏レベル向上と邦楽の発展を目的として、野村祐子を団長に1986年結成。1987年「第一回正絃社合奏団箏曲演奏会」以後、各地での自主コンサート、駅ちかコンサート、震災復興支援、やっとかめ文化祭などイベントに活躍。古典を土台に現代の多彩な創作作品、クラッシック、ポピュラーなど幅広いレパートリーに挑戦している。昨年のあいちトリエンナーレ2016舞台芸術公募プログラム「正絃社合奏団30周年記念コンサート～華舞歳々」にて三代舞踊団、ジャズ、ソプラノ歌手とのコラボレーションで好評を博す。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

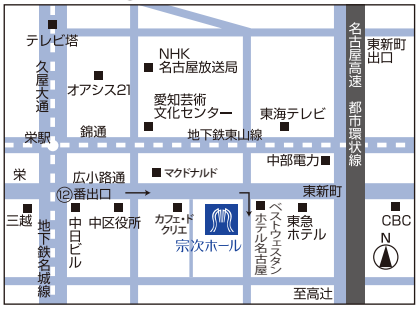
宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール（052-265-1715）までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック
宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14　〒460-0008
TEL:052（265）1715　FAX:052（265）1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00～16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休（年末年始、施設メンテナンス日を除く）